

令和4年3月14日 公営企業委員会(水道局)

○**小林委員** それでは、工業用水道事業の廃止に伴う取組についてお伺いいたします。

工業用水は、地下水の揚水規制の代替という側面があると同時に、産業支援としてスタートいたしました。また、需要拡大を図った結果、団地の雑用水としても使われており、工業用水は、工場の稼働に必要な水であることはもちろん、都民の日常生活にも深く関わっております。

工業用水から上水道への切替え対象は、企業などの利用者が四百七十六件、集合住宅でトイレ洗浄水として使用している利用者が約三万五千件と聞いております。

水道局では、これら利用者の切替えを鋭意実施されていると思いますが、上水道への切替えをしっかりと行うのが、事業廃止を決めた都の責務でもありますので、その進捗について何点か確認をさせていただきます。

初めに、事前説明でも報告がありましたが、工業用水道切替えの現在の進捗状況、改めてお伺いをいたします。

○**松田浄水部長特命担当部長兼務** これまで、工業用水及び一般雑用水の利用者に対し、事業廃止の経緯のほか、上水道への切替え工事の経費負担、切替え後の料金差額補填や節水設備設置の支援策などについて丁寧に説明してきました。その結果、全ての利用者に事業廃止についてご理解をいただいております、上水道への切替え工事を順次実施しています。

今後、工事を予定している利用者についても、切替え工事や節水支援の内容などの調整はほぼ終わっており、現在、導入する設備の仕様確定、経費の見積り、施工時期といった詳細な調整を実施しています。

また、集合住宅の切替えは、建物管理者や自治会等の協力を得て、居住者との調整を進めており、現時点で予定を上回り進捗しています。

こうしたことから、上水道への切替えについては、おおむね順調に進んでいると認識しています。

○**小林委員** おおむね順調に進んでいるとのことですが、事業廃止まで、工期を考えると残された時間も僅かでございます。

工業用水の利用者とは、詳細な調整の段階という答弁がございましたけれども、工業用水の利用者の切替えを進めるための課題、そして、それに対する水道局の対応についてお伺いいたします。

○**松田浄水部長特命担当部長兼務** 工業用水の利用者の中には、水道料金の負担を軽減するため、使用水量削減の観点から、節水支援となる循環設備や井戸の設置を要望している企業があります。こうした企業では、限られたスペースでの設備設置のほか、節水の効果とランニングコストの費用対効果を検討していることから、最も効率的な仕様の決定に時間を要しています。

当局では、企業の検討を促進し、速やかな判断を後押しするため、設備の仕様や経費節減効果などの専門的な内容について、コンサルの知見や関係局の協力を得て相談に応じるなど、早急に工事着手できるよう、引き続き支援していくこととしております。

○**小林委員** 節水支援は、企業経営の継続に直結する重要な取組であると思います。特に中小企業は、狭隘な敷地内での設備設置や切替え工事に苦慮していると聞いております。

既に切替えを始めて三年が経過いたしますが、困難な場所での実績を今後の設備設置の検討にフィードバックできれば、切替えがスムーズに進むのではないかと考えますが、設備設置に当たり、具体的な先行事例などがありましたら伺いをいたします。

○**松田浄水部長特命担当部長兼務** これまで、当局からの提案により、幾つかの企業が設備設置を完了しています。循環設備を設置した企業からは、敷地が限られている中で建物への影響が少ない小型の機器を屋上に設置できたことから、工場のスペースを有効活用できているとの声がありました。また、井戸を設置した企業からは、井戸とタンクを併用することで、十分な水量や水質が確保でき、問題なく操業できているとの声がありました。これらの事例は、当局が中小企業の要望に寄り添いながら提案し、機器の設置を支援したものであります。

今後、設備の設置を要望する企業に対し、先行事例における機器の性能や必要となるスペースなどの情報を積極的にフィードバックしながら、効果的な提案を行っていくこととしております。

○**小林委員** ありがとうございます。冒頭申し上げましたとおり、工業用水道事業は、産業支援の側面も併せ持った上でスタートしていることを忘れてはならないと思います。その工業用水道を廃止するのですから、それを機に企業が経営断念しないようにしっかりと支援していくのが都の大事な責任であると考えます。こうしたことをしっかり踏まえて、上水道への切替えを確実に完了させていただきたいと思います。

令和二年度公営企業決算特別委員会で、都議会公明党は、集合住宅の切替えが計画どおりに進捗していないことを指摘いたしまして、水道局からは、着実に取り組むとの答弁があったところであります。

先ほどの答弁では、予定を上回る進捗を見せているとのことですが、集合住宅は非常に数が多く、特に私の地元練馬区には、光が丘団地という都内でも有数の規模を誇る団地がございます。集合住宅では、工業用水はトイレ洗浄水として使用されており、公衆衛生の観点からも着実に切替えを行う必要があります。この光が丘団地だけで約七千三百件が切替え対象と聞いておりまして、全体の切替えの約三万五千件の二割強を占めている状況でございます。

そこで、ここの光が丘団地における切替えの進捗状況について伺います。

○**松田浄水部長特命担当部長兼務** 集合住宅の切替えは、当局が、居住者からの同意書提出を受け、建物管理者において各居室のトイレ配管の切替えを行っています。

光が丘団地では、令和四年一月末時点で約七割の切替えが完了しています。これは、集合住宅全体と比較しても、同程度の進捗状況であり、おおむね順調に推移しています。

引き続き、居住者とのコミュニケーションを重ね、同意書を取得していくとともに、建物管理者との綿密な連携の下、切替えを推進していきます。

○**小林委員** 光が丘団地は、居住者が大変多く、生活スタイルも様々でありますので、切替えに関する様々な事例が集約された地域ではないかと思えます。

先ほど、居住者とのコミュニケーションを重ね、同意書を取得していくという答弁がありましたけれ

ども、光が丘団地をはじめ集合住宅の切替えにおいて、どのような声があり、また、それに対してどう対応しているのかお伺いをいたします。

○松田浄水部長特命担当部長兼務 集合住宅の切替え工事は居住者の立会いが必要であることから、要望の多くは施工時期に関するものであります。こうした要望は、施工を行う建物管理者に伝え、居住者との調整を促しています。

そのほか、床や壁を剥がして配管を切り替えなければならない居室があり、居住者からは、日常生活の支障とならないよう短時間で工事を終わらせてほしいといった要望があります。これに対しては、建物管理者と当局が、事前に同じタイプの空き室で配管状況の確認や試験施工の実施などにより、最も効率的な施工方法を検討し、時間短縮に努めています。また、現場の状況に応じて、居室外のパイプスペースなどで施工するなど柔軟に対応しています。

今後も、当局では、居住者の要望に沿えるよう、切替え工事の時期や方法について建物管理者と十分な調整を行い、適切な対応を図っていくこととしております。

○小林委員 ありがとうございます。居住者の日常生活の環境の中で行う様々な工事でもありますが、大変ご苦勞もおありかと思えますけれども、引き続き、居住者の要望を踏まえて、着実に、そして丁寧な切替えを進めていただきたいと思います。

これまで中小企業や集合住宅の居住者と調整を行い、取組を進めてきましたが、工業用水道の廃止に伴う上水道への切替えは、繰り返しになりますが、令和四年度末に確実に完了させなければなりません。

残り一年と時間がない中、上水道への切替えを確実に完了させるための今後の取組についてお伺いいたします。

○松田浄水部長特命担当部長兼務 工業用水道の利用者とは、これまでも、切替え工事における様々な調整を行ってきました。

令和元年度末頃からは、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者との接触が制限される中で、連絡を取るのも困難な状況に見舞われた時期もありました。こうした時期においても、企業や集合住宅の自治会などと協議し、郵送やポスティングなどの多様な方法により、粘り強く合意形成に取り組んできました。

これらの取組を通じて、事業廃止や支援計画に理解を得ることができ、工事に向けた施工内容の調整が進んだことで、切替えは予定どおり進捗しています。

四年度は、工業用水道事業の最終年度となるため、より一層、利用者の方々と真摯に向き合うとともに、具体的な調整を早急に行い、上水道への切替えを完了させてまいります。

○小林委員 都議会公明党は、工業用水道の今後について議論が行われていた際、二〇一八年の定例会の代表質問で、既に十年以上にわたり工業用水道の事業の継続、廃止の検討の中、これ以上先送りすることは許されない状況にあるとの認識の下で、ユーザーの方々と真摯に向き合い、工業用水道の現状や今後の課題などについて、直接、ユーザーの方と会って意見交換を行うなど、最終判断に向けた検討をより丁寧に進めていくべきと主張をいたしました。そして、廃止という判断になった場合でも、ユーザーにきめ細やかな支援を行っていくべきと求めたところでご

ざいます。

廃止決定後も、本会議や当委員会、また、決算委員会などを通じて繰り返しこの問題を取り上げてまいりましたが、いよいよ残り一年であります。今、答弁にもありましたように、今まで以上の丁寧な調整を行い、進めていただくよう要望いたしまして、質問を終わります。